

団体情報	
団体番号	36
団体名	島根大学鉄道研究会
所属人数（前年度）	34

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 本研究会は、鉄道の更なる発展を目指し、又鉄道への理解を深めるための広報活動、地方私鉄等の支援を行い、会員との交流並びに鉄道の知識を深めるために国内外の鉄道路線に乗り、又施設等を訪問することを目的とする。
	活動内容	Ⅰ．前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 普段の活動としては週に1回程度、大学会館の部屋を貸切って対面活動と部会を行っている。対面活動では会員が鉄道模型を持ってきて走行させたり、鉄道雑誌を持ち込んで鉄道談義をしたり、鉄道シミュレーターで運転体験を行ったりしている。部会は当会の予定や決定事項などを会員に共有することで各々が自主的な会に出来るようにしている。 ②社会や地域貢献活動 木次線や一畑電車、NPO法人江の川鉄道といった島根県のローカル線や廃線跡を活用した活動をおこなっている。木次線での地域貢献活動としては10月と12月に行われる木次線まつりに当会としてブースを出展したり、同日に行われた座談会に学生の代表として出演したりした。また木次線の出雲横田駅にある注連縄を新しく作り変えるにあたって当会も作成に参加し、お披露目イベントにも出展した。一畑電車との活動としては新入生歓迎会にて新入生に島根県の鉄道を知ってもらう機会として、電車を貸し切る形で行った。また今年度の新年会では、おでん電車という電車を貸し切っておでんを食べるといった形で実施した。その他にも一畑電車のPV撮影にエキストラとして参加した。NPO法人江の川鉄道との活動としては、このNPO法人は旧三江線の廃線を活用してトロッキ列車を運転しており、私たちはそのボランティアとして受付やトロッキの運転を行っている。また昨年は三江線が全線開通して50年という節目の年だったためにそれを記念する形で三江線にまつわるジオラマの作成を依頼され、宇津井駅のジオラマを作った。 ③その他アピールできること 昨年度は当会がテレビ出演する機会があった。新入生歓迎会に関するものでBS Sから取材を受けたものでその回はYouTubeにアーカイブが残っており以下に添付する。https://youtu.be/le-p-zDTZgl?si=Jsl4-y3m4v9A9jDG 他にもNHKからの三江線のジオラマにかんしての取材があった。



			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥152,757	
		入部(会)金	¥0	0円／人（年額）
		部(会)費	¥0	0円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥15,000	
		活動・イベント収入	¥274,464	
		寄付金	¥62,730	ギビングキャンペーン含
		スポンサー収入	¥0	
		その他	¥111	受け取り利子
		収入合計	¥505,062	
	支出	備品等購入費	¥108,944	
		施設等利用料	¥65,000	
		大会等参加費	¥2,000	
		広報活動費	¥0	
		交際費	¥0	
		交通費	¥48,335	
		その他	¥62,600	
		支出合計	¥286,879	
	差引収支		¥218,183	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	部室の確保をしてほしい。部室レベルでなくとも昨年度末の説明会で提示されたサークル棟の空き倉庫を使用させてほしい。
	学外の団体等への要望	

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。